

6
June

俳句

(2 0 2 3)





た べ も の 俳 句	モ ー ロ ク 俳 句	歳 時 記 俳 句	目 次
10 〈	6 〈	1 〈	

<水無月>

雨がたくさん降る時季なのに”水の無い月”って変なのって思われますよね。「水無月」の”無”は”の”にあたる連体助詞ですので、「水無月」は”水の月”ということになります。

季節：仲夏（ちゅうか） ※芒種から小暑の前日まで。

（字佐美保幸）メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに

巣鴨とげぬき徒然俳句

<https://blog-haiku.777usami.com>

ガーベラや新聞いつも一般論
十葉や老いて毎日葉漬け
沙羅双樹落花白花コケに映え

アマリリス痴呆徘徊雨の中
遺伝子の通りに咲いてアマリリス
アマリリス格差の話もう止める
アマリリス記憶喪失われ脳死

合戦が始まり鉄砲百合が咲く
鉄砲百合トランペットかトロンボーン

芒種かなパクパクと鯉の口
はや芒種庭の雑草元氣増す

未央柳雌しべ雄しべの長睫
蜘蛛の罠をこれも戦争壊しけり
燃え燃えて朱に燃え散る花石榴



紫陽花の鉢を取り替え来年を
紫陽花は毎年彩を変えにけり
通り雨まだ物足りない
紫陽花の鉢植え今年また増える
紫陽花が紫陽花褒めて紫陽花や
人嫌い本音を隠す紫陽花や
来ては去る人に紫陽花疲れけり

温暖化さつき雨をも災害に
自転車のウーバーイツ五月雨るる

死にがいを求めて生きて鬼百合や
おはようと百合にお辞儀を朝散歩

雨脚がさらさらさらと花菖蒲
花菖蒲雨をいとわず起立して
早起きし静かな雨の花菖蒲



水芭蕉空に何見る空向かい
被写体に慣れて疲れる水芭蕉
水芭蕉宇宙の先に何を見る

金糸梅久遠の黄花耳すます
金糸梅たれて謙虚に主張する

生きる知恵なくて長生き葵咲く
立葵競い競われ立ち昇る
八頭身すらの茎や立葵
立葵住めば都とニュータウン

メダカにもブルジョア生まれ格差あり
街中華なぜか目高の水槽が

午前二時睡蓮蕾目覚めかな
睡蓮のカップル花は相照らし



どこまでも濡れて濡れいる白あやめ
夏至の夜老いてみる夢恐き夢

毛虫焼く誰が判決毛虫焼く
嫌われてそれも生きがい毛虫這ふ
毛虫行く豪華絢爛身にまとい

青柿や洗い観音つやめいて
ラフマニノフ序奏始まり梅雨の雷

青芒それは幻影そよぐなり
青芒水は時には牙をむき

居酒屋は昭和の暗さ梅雨深し
梅雨深しパソコンさえも湿りがち
梅雨深し我が血圧は高止まり
降り注いで考へる人梅雨の雨



青梅をかじり下痢した昭和の子
これやあれあれやこれやで梅は実に
梅の実は少子化無縁鈴なりに

梅雨きのこ親しげ顔にリスクあり
梅雨時はパソコン起動遅くなる
梅雨寒のパソコンやはり湿りがち

新聞に季節定番江戸風鈴
江戸風鈴金魚泳がし目に耳に
風鈴の音を届けよあの世まで



モーロク俳句

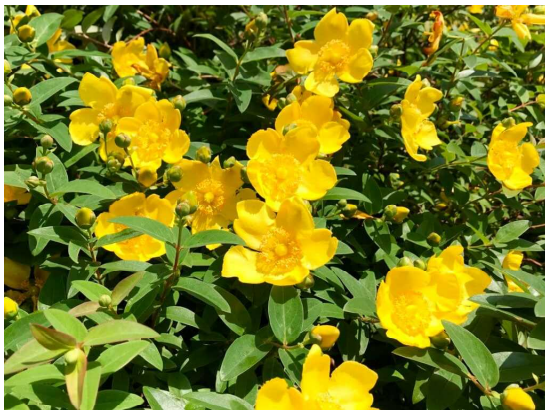
モーロクしほつかりとした六月を
モーロクしされど六月風のうた

花かぼちや噂話でモーロクす
生き死にの話モーロク花南瓜

石榴咲く錯覚火花モーロクす
久遠かな金糸梅咲きモーロクす

鬼百合やわれを偽るモーロクし
モーロクし真昼の睡魔ゆりの花
モーロクし心繕い百合の花

モーロクししわしわ顔に芒種かな
モーロクし駄作句集やさくらんぼ



モーロクし好きも嫌いもさくらんぼ

モーロクし諸行無常の沙羅の花

モーロクし死後は何処と沙羅の花

モーロクしひとは螺旋に捩花

モーロクし淋しいときはアマリリス

アマリリスすでに脳死やモーロクし

アマリリス記憶は脳死モーロクす

さみだれはモーロク頭細かかり

モーロクし妄想膨らむ小判草

昼顔や悟りし後にモーロクし

桑の実や兄弟四人モーロクし

モーロクし明日は過去に紫陽花や

ほたるぶくろモーロク吾は降圧剤



モーロクしされど道図太く牛蛙
モーロクし散りたきころ水中花
モーロクし歳は忘れて水中花

モーロクし疲れ果てたか山椒魚

モーロクし継ぎるいのちや梅雨に入る
モーロクし心の遅れ梅雨に入る
モーロクしスーぷもさびし梅雨に入る

モーロクし今日は何の日今日は夏至

モーロクしモネの睡蓮閉づる夢
モーロクし睡蓮の闇まどろみて

モーロクし暇もて余す梅雨深し
モーロクし自省の日々よ梅雨深し



なすの花モーロクすれど日課あり
モーロクし余生うとまし吊忍

モーロクし見ざる聞かざるかたつむり
蝸牛タイムトンネルモーロクす

短夜や先がむずかしモーロクし
短夜も幾たび小水モーロクし

なめくじもモーロクするか吾のごと
苔の花独りよがりモーロクす
モーロクし未知な晩節苔の花

モーロクしいま脳天を梅雨の雷
モーロクし踏んばり緩む梅雨の雷



たべもの俳句

春雨を胡瓜とあえてさつぱりと
どんぶりをあふれて嬉し穴子丼

塩麴漬け黄色と緑ズッキーニ
ズッキーニ焼いただけなり岩塩を
ニンニクがうまみ引き立てたこ炒め

トーストに小豆缶詰外は梅雨
鶏胸の唐揚げからり五月晴れ

朝がゆに塩を一振り半夏生
梅雨だるに味噌豚バラの焼き肉を

梅干しの酸っぱさわかる認知症
ジュシーに鰯蒲焼き鰻タレ



付度し鰻蒲焼き食べてみる

らつきようをたつぷり塩漬け常備品
スタミナを夏に活躍ニラ醤油

だし汁であじの漬け井お茶漬けも
焼き鮎のほどよき焦げ目炊き込みに

これでもかミョウガ輪切りを冷やそうめん
コチュジャンで甘辛そうめんビビン麺

梅雨寒にけんちん汁で暖まる
梅雨に入る煮物辛口工夫して

「みそたまり」みょうがの香りお吸い物
梅雨に入り鰯の梅煮さっぱりと

夏野菜盛り沢山にガパオかな



納豆ともやしのみそ汁梅雨の朝

透きとほる烏賊の干物や梅雨晴れ間
おつまみに屋台の味のイカ焼きを

水餃子ふるふるぷると外は梅雨
朝がゆにあたたまりけり梅雨寒や
鶏皮を茹でて大粒梅雨の雨

青梅のおいしさギュッとシロップに
昭和の子青梅かじり腹壊す



